



株式会社ドール もったいないバナナプロジェクト





ドール もったいないバナナプロジェクト

おいしく食べられるのに見た目やサイズのばらつきによって
"規格外"とされ廃棄されていたバナナを「もったいないバナナ」と名づけ救出！



日本で最も食べられているフルーツであるバナナは、
年間約100万トン日本へ輸入され、その内の8割はフィリピン産です。

近年フィリピンでも気候変動の影響により
バナナの生産環境は悪化し、生産量は年々減少傾向です。

そのような環境下で、皮の傷やサイズのばらつきを理由に廃棄されるバナナは
フィリピンのDole自社農園だけでも年間2.5万トンにのぼります。

Doleは、味や品質に問題ないにもかかわらず廃棄されてしまう
「規格外バナナ」を「もったいないバナナ」と名づけ救出

**2021年9月から2025年7月までに
累計約4,400トンの食品ロス削減を実現
多くの企業様と協業し取組の輪を広げ
「見た目」にとらわれず消費する習慣を広げていきます**





もったいないバナナプロジェクト 取り組み概要

加工原料として活用
(ピューレ、パウダー、チップス、IQF等)

参画企業様累計60社以上
累計110SKU展開
※2021年9月～現在までの累計



青果品として量販店で販売



Dole自社園地における
規格外品のバナナ: **年間2.5万トン**



54チェーン
約900店舗にて販売
※2025年7月現在



2024年から店頭で青果もったいないバナナ販売開始



「もったいないバナナ」は今回初めて知ったけど、いつも食べているバナナと全然変わらない味で驚いた。



「もったいないバナナ」の中には通常バナナよりも大きなサイズのものもあったりして、おトクに感じた。



なぜ「規格外」となったのか理由が明確にされていれば、購入する時にも抵抗を感じないと思う。



きれいなバナナを買っても、後で皮に傷を付けてしまうことはよくあるので、中身が美味しく食べられるのならこれくらいの傷は気にならない。



小学校の授業で食品ロスのことを知ったから、「もったいないバナナ」にも興味をもった。





「もったいないバナナ」の取り組みを広く認知してもらうための活動

「もったいないバナナ」STORYを制作

「もったいないバナナ」が生産～店頭へ並ぶまでを
ストーリー仕立てにした4分間の動画を制作
量販店の店頭や映画館で配信

毎月1日をもったいないフルーツの日 として記念日を制定

毎月1日には自社のSNS等からもったいないバナナを
はじめとした規格外のフルーツの取り組みを紹介



↓ もったいないバナナ STORY 動画





もったいないバナナの可能性を広げる新たな取り組み

オフィス・デ・ドール

オフィス等へ「もったいないバナナ」を
定期的にお届けする仕組み

Office de Dole
オフィス・デ・ドール

オフィスで美味しく! 栄養補給の新習慣!
Doleがあなたの職場に“もったいないバナナ”をお届けします。

お客様の声

- バナナってこんなに美味しかったんだ
- フードロス削減に協力出来て嬉しい
- 間食にもちょうど良く習慣付けたい
- 福利厚生サービスとして社員へ提供したい

バナナ炭

「もったいないバナナ」を炭にして商品化





今後の展開

2025年度新たにパンやマンゴー等にも範囲を広げ取組拡大
さらに今後は自社商材以外の国産果実でも同様の取り組みを計画

